

成田っ子 通信

～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

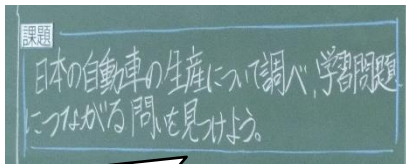
R 3.11.4 No.8
文責 新井麻起

本校では学校研究課題を「個別最適な学び」と「共同的な学び」の一体化を目指した授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践～とし、「一人2回」を合い言葉に校内の研究授業を行っています。

教科：社会 単元名「自動車をつくる工場」 5年生3組 阿部 秀紀 教諭

自動車が産業を支えるために、どのように変化し、どのような工夫をしているかを、資料やグラフ等から、調べたり、話し合ったりしながら考える。

【本時の課題】



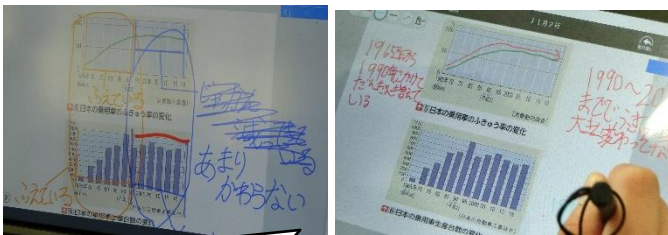
本時の課題は「日本の自動車の生産について」調べ、学習問題につながる問いをみつけよう。」

【自動車やその機能の変化】



車の形や変化を時代順に並べてみよう。C:多くの人が車に乗るようになって、燃費の良い車が出てきて、今は排出ガスを出さない車が研究されている。

【2つのグラフから分かること】



二つのグラフからわかることはどんなことだろう C:車の生産率と普及率は1970年頃から急に増えているな。

話し合いにもサッと入れる。

【情報の共有】



C:1年で800万台も生産されている。C:ということは車は生活に欠かせないものになっている、ということか・・・

【円グラフから分かること】



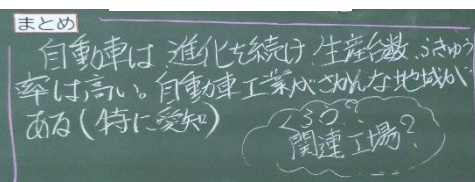
C:なんで愛知県が生産額が多いの？ C:『愛知車』って調べてみよう C:そうか愛知には豊田の会社があるからだ C:群馬県はスバル、神奈川県は日産

【地図から分かること】



C:港や高速道路の近くに会社や工場が多い C:ということは輸出や輸送がしやすいということ

【次時の問題】



何よりも、児童が生き生きと調べたり、分析したり、発言したりしていました。

今回の授業で驚いたことは、全部で4種類の資料を提示しているが、読み取りが早くなっている。1つの資料につき2分